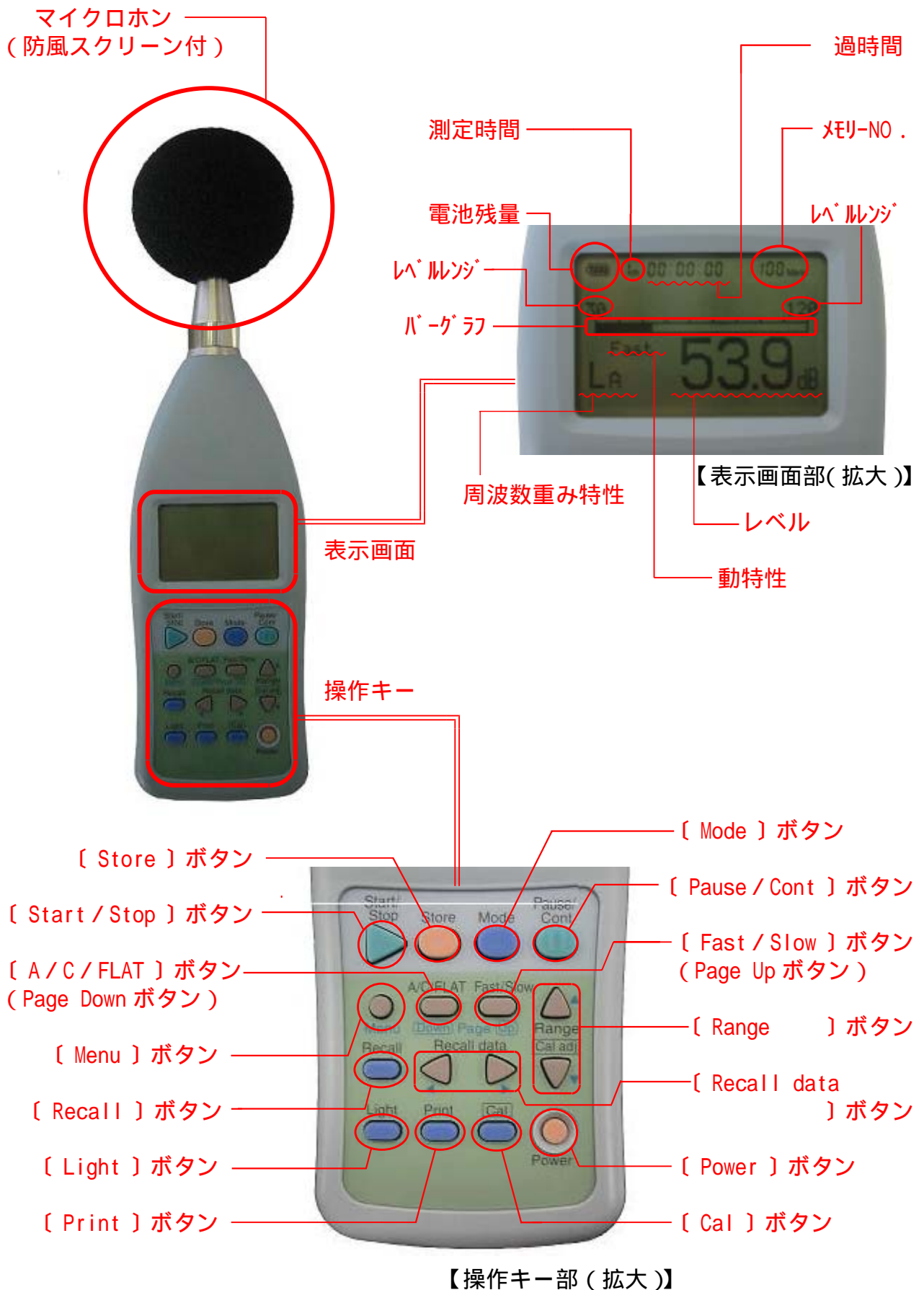


積分型普通騒音計（NL-20） 使用マニュアル



山梨産業保健推進センター

【各部の名称】



測定前の準備

1 . 電源

本器裏面にある電池収納部のカバーを軽く押しながら右にスライドさせてカバーを外します。

内部に表示されている電池の極性に従って単3形乾電池（4本）を入れます。

カバーを元のように取り付けます。

2 . 校正

測定の前に必ず校正を行って下さい。

[Power] ボタンを押し、電源を入れます。
測定画面が表示されます。

[Range] ボタンを押し、レベルレンジを [30 ~ 120 dB] に設定します。

[Menu] ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の [1 / 3] を表示させます。

[Cal Mode] が [Internal] に設定されている事を確認します。

[External] に設定されていた場合、[Range] ボタンを押し、
[External] にカーソルを合わせ、[Recall Data] ボタンで [Internal] に設定し直します。

[Menu] ボタンを押し、測定画面に戻します。。

[Cal] ボタンを押します。
レベルレンジの表示を見ます。

・ [30 ~ 120 dB] の時 [114 dB] を表示。

・ [30 ~ 120 dB] 以外の時 目盛上限値の [-6 dB] を点滅表示。

レベルを [Range] ボタンで [114 dB] に設定します。

再度、[Cal] ボタンを押し、測定画面に戻します。

3 . 画面のコントラスト調整

[MENU] ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の [3 / 3] を表示させます。

[Range] ボタンを押し、[LCD Contrast] の * マークにカーソルを移動させます。
反転表示されます。

[Recall Data] ボタンを押し、* マークを増減させ、コントラストを調整します。

[MENU] ボタンを押し、測定画面に戻します。

4 . その他

- ・ 風のある屋外や換気装置の騒音測定では、防風スクリーンを取り付けます。
- ・ 長時間の使用の場合は、三脚に取り付けての使用が出来ます。
本器裏面の三脚取り付けネジに三脚を取り付けます。
- ・ 暗い場所で測定を行う場合は、[Light] ボタンを押し、表示画面のバックライトを点灯させます。
再度、[Light] ボタンを押すと消灯します。

測定方法

1 . 騒音レベルの測定

[A / C / FLAT] ボタンを押し、周波数重み特性の設定をします。
通常は [A] 特性に設定をします。

[A] 特性以外での設定

- ・ Lp ... 20Hz ~ 8kHz まで平坦な音圧 (平坦特性)
- ・ Lc ... 31.5Hz ~ 8kHz まで平坦な音圧 (C特性)

[Fast / Slow] ボタンで時間重み特性 (動特性) を設定します。
通常は [Fast] に設定します。

JIS等の規格に従って測定する場合は、共にその規格に従って設定して下さい。

[Range] ボタンでレベルレンジを設定します。
バーグラフ表示が、中央付近を指示するよう設定します。

[Ov (Over)], [Un (Under)] が画面に何度か表示された場合、
レンジレベルの設定をし直します。

測定開始。

表示画面のレベル (読み値) が騒音レベル (音圧レベル) です。
レベルは、1 秒毎に更新されます。

[Pause / Cont] ボタンを押すと更新の中断 (又は再開) を行うことができます。

2 . 等価騒音レベル (LAeq) の測定

[A / C / FLAT] ボタンを押し、周波数重み特性を設定します。
通常は [A] 特性に設定します。

C特性に設定すると等価音圧レベルとなります。

[Fast / Slow] ボタンを押し、時間重み特性 (動特性) を設定します。
通常は [Fast] に設定します。

[Range] ボタンでレベルレンジを設定します。
バーグラフの表示が、中央付近を指示するように設定します。

[Ov (Over)], [Un (Under)] が画面に何度か表示された場合、
レンジレベルを設定し直します。

[Menu] ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の (1 / 3) を
表示させます。

[Range] ボタンを押し、[Meas . Time] にカーソルを合わせます。

[Recall data] ボタンを押し、測定時間を選択します。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の (2 / 3) を表示させます。

[Leq] が [Off] と表示されている場合、[Range] ボタンで [Off] を反転表示させ、[Recall data] ボタンを押し、[On] に設定をします。

[Menu] ボタンを押し、測定画面へ戻ります。

[Start / Stop] ボタンを押すと測定を開始します。
手順 ~ で設定した測定時間が経過すると自動的に測定は終了します。

測定中は表示画面に [] マークの点滅と経過時間が表示され、測定中であることを示します。

測定終了後、[Mode] ボタンを押し、表示を切り替えます。
測定結果が表示されます。
[LAeq] と表示されたときが等価騒音レベル値となります。

3 . 単発騒音暴露レベル (LAE) の測定

[A / C / FLAT] ボタンを押し、周波数重み特性を設定します。
通常は [A] 特性に設定します。

[Fast / Slow] ボタンを押し、時間重み特性 (動特性) を設定します。
通常は [Fast] に設定します。

[Range] ボタンで、バーグラフの表示が中央付近を指示するように設定します。

[Menu] ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の (1 / 3) を表示させます。

[Range] ボタンを押し、[Meas . Time] 表示にカーソルを合わせます。

[Recall data] ボタンを押し、測定時間を選択します。

[Page Up] [Page Down] ボタンを押し、メニュー画面の (2 / 3) を表示させます。

[LE] が [Off] と表示されている場合、[Range] ボタンを押し、[Off] を反転表示させ、[Recall data] ボタンを押し、[On] に設定をします。

[Menu] ボタンを押し、測定画面へ戻ります。

[Start / Stop] ボタンを押すと測定を開始します。
手順 ~ で設定した測定時間が経過すると自動的に測定は終了します。

測定終了後、〔 Mode 〕 ボタンを押し、表示を切り替えます。
測定結果が表示されます。
〔 LAE 〕 と表示された時が単発騒音暴露レベル値となります。

4 . 最大値 (Lmax) ・ 最小値 (Lmin) の測定

〔 A / C / FLAT 〕 ボタンを押し、周波数重み特性を設定します。
通常は〔 A 〕 特性に設定します。

〔 Fast / Slow 〕 ボタンを押し、時間重み特性 (動特性) を設定します。
通常は〔 Fast 〕 に設定します。

〔 Range 〕 ボタンを押し、バーグラフの表示が中央付近を指示する
ように設定します。

〔 Menu 〕 ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

〔 Page Up 〕〔 Page Down 〕 ボタンを押し、メニュー画面の (1 / 3) を
表示させます。

〔 Range 〕 ボタンを押し〔 Meas . Time 〕 にカーソルを合わせます。

〔 Recall data 〕 ボタンで測定時間を選択します。

〔 Page Up 〕〔 Page Down 〕 ボタンで、メニュー画面の (2 / 3) を
表示させます。

〔 Lmax 〕 が〔 Off 〕、〔 Lmin 〕 が〔 Off 〕 と表示されている場合、
〔 Range 〕 ボタンで〔 Off 〕 を反転表示させ、〔 Recall data 〕 ボタンで
〔 On 〕 に設定します。

〔 Menu 〕 ボタンを押し、測定画面へ戻ります。

〔 Start / Stop 〕 ボタンを押すと測定を開始します。
手順 ~ で設定した測定時間が経過すると自動的に測定は終了します。

測定終了後、〔 Mode 〕 ボタンを押して表示を切り替えます。
測定結果が表示されます。
〔 LAmax 〕 と表示時が最大値〔 LAmin 〕 と表示時が最小値となります。

5 . 時間率騒音レベル (LN) の測定

[A / C / FLAT] ボタンを押し、周波数重み特性を設定します。
通常は [A] 特性に設定します。

[Fast / Slow] ボタンを押し、時間重み特性 (動特性) を設定します。
通常は [Fast] に設定します。

[Range] ボタンで、バーグラフの表示が中央付近を指示するように設定します。

[Menu] ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

[Page Up] [Page Down] ボタンで、メニュー画面の (1 / 3) を表示させます。

[Range] ボタンを押し、[Meas . Time] にカーソルを合わせます。

[Recall data] ボタンを押し、測定時間を選択します。

[LN] は 1 0 0 msec 間隔でサンプリングしているため、測定時間が 1 0 秒以下では正しい値を表示しません。

[Page Up] [Page Down] ボタンで、メニュー画面の (2 / 3) を表示させます。

L 1 ~ L 9 9 までの任意の時間率を最大 5 種類まで設定することが出来ます。
[Range] ボタンを押し、反転表示させ、[Recall data] ボタンを押し、測定したい時間率の数値と [On]、[Off] の設定をします。

[Menu] ボタンを押し、測定画面へ戻ります。

[Start / Stop] ボタンを押すと測定を開始します。
手順 ~ で設定した測定時間が経過すると自動的に測定は終了します。

測定終了後、[Mode] ボタンを押し、表示を切り替えます。
測定結果が表示されます。

《このマニュアルを使用されます方へ》

- ・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
- ・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いいたします。